

視点を変えてみたら、との思いで、生きものとのお付き合いの参考にどうぞ。

○ぶつぶつぶやき○ ⑱

ノアザミの花が咲いていると、つい、花粉が出そうな“おしべ”を探してしまいます。と言いますのは、ちょっとした“いたずら”をしたくなるからです。ノアザミにしたら迷惑な話なので、極力、手を出さないようにはしています。それでも、たま～に、魔が差して“ちょん、ちょん”と触ってしまいます。若い感じのおしべの先を軽く触ると、『むにゅむにゅ』と花粉が出てくるのです。これは、昆虫がおしべの上を歩いた時に初めて花粉を出すという、ノアザミの省エネ戦略らしいのです。なので、花粉を運んでもくれないのに、花粉を出してしまうと、エネルギーの無駄になってしまうのです。「ノアザミさん、ごめんなさい！」それにしても、生きものというのは、いろんなこととしていて、感心するばかりです。＜さんじゃく＞



定例総会を 6/25(日)に予定しています。

詳細は 4 ページを見てください。

お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会

(NAIS Fukuoka: The Nature Interpreter Society of Fukuoka)

代表：田村耕作／事務局長：小野 仁／

編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子／会計：宮原俊彦

〒814-0144 福岡市城南区梅林2丁目10番23号

ハイツ中村401

自然案内舎(ウクレバード内) TEL & FAX: 092-400-1765

URL: <http://www.kurabird.com/>

掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

★都市公園で自然観察会 73★

春日公園で、初夏を、ゆっくりと観察します。

★日時 6月18日 (日) 集合14時～解散16時

★場所 春日公園・旧売店 前

会員200円、一般300円です。協力をお願いします。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 092-400-1765 [FAX兼用]

Email kurabird-.tamura@nifty.com

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300 円（中学生以下無料）

集合時間、ご注意ください。

6/18 (日) 7/16 (日)
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時 間：8:00～11:00
集 合：天拝山歴史自然公園
問合せ：090-7165-5026（重松尚紀）

6/25 (日) 7/23 (日)
久末ダム探鳥会（福岡町）
時 間：8:00～11:00
集 合：久末ダム多目的広場横
駐車場（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

7/2 (日)
今津探鳥会（福岡市西区）
時 間：8:00～11:00
集 合：玄洋高校西側道路
問合せ：092-891-9005（神園道男）

7/8 (土)
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）
時 間：9:00～12:00
集 合：ポート乗り場前
092-573-1827（森健児）

7/9 (日)
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時 間：9:00～12:00
集 合：JR 和白駅前公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

7/4 (火)
県営春日公園（春日市）
時 間：10:00～12:00
集 合：旧公園管理センター前
問合せ：090-8220-6160（田村耕作）

日本野鳥の会 筑後支部 主催

福岡植物友の会 主催

6/11 (日)
高良山（久留米市）
時 間：9:00～12:00
集 合：高良社下宮
090-4357-3043（溝田泰博）

6/18 (日)
長谷ダム（福岡市東区）
参加は有料 要予約
問合せ：092-662-2983（佃 昇）



三国丘陵の自然を楽しむ会・観察の様子

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催 <http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

7/1（第1土曜日）
自然観察会（植物・昆虫・野鳥など）
集 合：九州歴史資料館駐車場
時 間：9:30～12:30
問合せ：092-920-3072（松永紀代子）
参加費：200 円（大人のみ）

ブログ 「三国丘陵の自然を楽しむ会」で

[検索](#)

観察会や様々な生きものの情報を載せています



シジュウカラ 巣立ちビナ・ハリエンジュ 三国・松永



チャイロチョッキリの食事・アラカシ 三国・松永

和白干潟を守る会 主催

6/24 (土)
守る会定例会議
時 間：10:30～13:00
集 合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

6/24 (土)
クリーン作戦 と自然観察会
時 間：15:00～17:00
集 合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）

久留米の自然を守る会 主催

第V記

「身近な植物」ボランティア講座

実施日 6月29日 7月27日

8月31日 9月28日

要事前申込

時 間：9:30～12:00

集 合：高良大社下宮社

問合せ：090-1346-0460（橋田沙弓）

hashida@kurumenoshizen.net

2017年5月 私のデジカメ日誌より 本のむし

今回は、5月1日（旧暦4月6日）～5月21日
（旧暦4月26日）までのデジカメ日誌です。



5月1日（旧暦4月6日） 福岡市博多区崇福寺
黒田家の墓所のある崇福寺の境内にこの樹はある。剥が
れた樹皮の赤に強い印象を受けた。この樹、何の木？



5月5日（旧暦4月10日） 筑紫野市塔原地藏川源流尾根
尾根で見かけたヒノキの切り株。新しい年輪の内側の木
部が年輪に沿って空洞化している。何が食べたのだろう。



5月8日（旧暦4月13日） 小郡市三沢九州歴史資料館
4/22に見かけたあと、駐車場で抱卵をはじめたので館に
お願いして、コーンを立てエリア保全をしてもらった。しか
し、卵が割られ繁殖は失敗した。カラスにやられたか？
このコチドリ夫婦はしばらくこの辺りをうろうろしていた。



5月1日（旧暦4月6日） 福岡市中央区南公園
コナラの樹洞に身体の6、7倍ほどの産卵管を差込んでい
るウマノオバチ。管の先は寄生される虫の幼虫であろう
か。図鑑にはシロスジカミキリの幼虫に寄生するとある
が、そのカミキリ自体がもう普通種ではない様に思う。



5月7日（旧暦4月12日） 八女市星野村麻生池
福岡県の絶滅危惧ⅠB類。オグラコウホネの花を今年も
見ることができた。俳句では夏の季語。この日も暑くなる
予感。水中を後ろ足の出たおたまじゃくしが泳いでいた。



5月19日（旧暦4月24日） 筑紫野市武蔵
天拝山頂下の長い階段の途中に居たアジアホソバズメであ
る。上翅先端がカギ状に曲がることや、内縁部のえぐれなど
が、カッコいいといってファンが多いらしい。

くすのき 2017年6月号投稿原稿-本のむし
Nais-fukuoka 福岡県自然観察指導員連絡協議会

会員の投稿 浜田和美さん

◎ 5月2日、見島にて。キガシラセキレイ。



ようやくであえた鳥。きれいな個体でした。(夫撮影)

◎ 5月20～21日、野鳥の会、九州ブロック大会が英彦山で行われました。そのとき見つけた花、チゴユリです。



小さなかわいい花が付いていました。



定例総会を6/25(日)に予定しています。

◆2017年度 定例総会

今年度の福岡県自然観察指導員連絡協議会・定例総会を、下記の日程で開催いたします。会員の皆さん、ご参加をお願いいたします。

◇日時 6月25日(日) 13時30分～15時30分

※午前中(10時から12時まで)は、春日公園内にて自然かんさつ会
集合は、旧売店 前です。こちらにも是非ご参加下さい。

◇場所 春日公園・旧公園管理センター 2階 会議室
【春日市原町3・JR九州鹿児島線 春日駅から徒歩15分】

- 【議題】
- ・2016年度の活動報告と決算案について
 - ・2017年度の活動計画と予算案について
 - ・その他

◇連絡先

担当：田村 耕作 TEL：092-400-1765〔FAX兼用〕



最近感動した旅の途中の蝶(田村)

福岡市市役所1階で、生物多様性の広報活動として、生きものに関わる団体の活動を

市民の皆さんに知ってもらおう展示会がありました。

期間は5/19から5/25までの7日間です。

ナイス福岡では、4月と5月の会報、日本自然保護協会の活動内容をお知らせするチラシを展示して
広報活動に参加しました。



活動を知らせる展示の様子

都市公園で自然観察会 12回 案内人も含めて参加者 52名

H29 年 5 月 21 日（日）

テーマ：公園で生きものを探して、観察し、記録する（福岡県生きもの見つけの参加者との観察会）

1. 観察した内容

- ・木毛（こけ） 樹幹に付いた地衣類（菌）と蘚苔類（植物）の違い ・ヤドリギとヒノキバヤドリギの様子
- ・1センチほどのカマキリ（幼生） ・スイカズラの花とその蜜を吸う ・大きな実の付いたヤマモモ、
- ・オオバコの雄花と雌花の開花時期の違い・オオバコの拡がり方と種の話、茎の遊び・桜の蜜線・スズメバチの存在の大切さ
- ・そろそろ咲きだすネジバナなど・ツツジの葉の上のクモの巣とクモ ・油膜のような菌類（鉄バクテリア）
- ・コナラの幹とスズメバチと樹液のこと。クワガタやチョウとの関係 ・クスノキの葉の匂い。樟脳の話。
- ・カワラヒワの飛ぶ姿と声。黄色のフィールドマーク・ドバト（堂バト）。カワラバトと団地。伝書鳩。
- ・ヨモギの葉の匂い。ヨモギ餅ともぐさの話。 ショウジョウトンボ、ベニイトトンボ、ヨツボシトンボ
- ・ニホンアナグマ ・ジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）の卵 ・ケムシの観察・クローバーの種探し
- ・ヤモリの観察・シジュウカラやアオサギ、カワセミの観察。・キキョウソウとヒナギキョウ。

2. 感想

- ・参加の親子が何を見たかったのが、よく解らないまま終わったのが残念でした。
また、主催者がどのような観察会を考えていたのでしょうか。 その打合せはやはり事前にやっておくべきだったと反省しています（山本勝）。
- ・「生きものみつけ」と一言と言っても、人それぞれ興味の対象が違い、それぞれ色んなものに気付いてくれるのが、面白いなと思いました（ながまつ）。
- ・チョウとトンボが一気に現れ、あちこちに目が行き、忙しくも 楽しい観察でした。小さな花にあふれた良い季節ですね（小野）。
- ・観察の目、興味の方向がたくさんあり、そのおかげで生きものの多様性も含め、楽しさ実感しました。関係した皆さん、ありがとうございました（田字草）。



ホタルガの幼虫（マダラガ科）ヒサカキを好む



ヨツボシトンボ



突然現れ、すぐに飛んで行った。



名札の影が住処のヤモリ



キキョウソウ



盛んに採餌中のキジバト



観察の様子 1



観察の様子 2



みんなで振り返りの様子



眼に痛い程のあざやかな新緑は、濃い緑へと深みを増して来ました。ノムラモミジの新葉は赤紅色ですが、やはり次第に緑へと変色を始めます。13~4ミもある種子を抱く羽は、色付き始めたリンゴの様な優しい色を変えることなく、長く枝に残ります。

足元にチガヤの穂波が風に揺れる頃、里地は一斉に麦秋を迎え、乾燥続きのこの五月は忙しげに往来する人の姿が田畑に見られますが、それまではあちこちで、草刈りの音がひびき、道路沿いの草花は、雨量や刈られる日のわずかな違いで、数年に渡って生えてこない場合もあるようです。

(ダムサイト住人 2017/6/5 記)

 他団体の会報の紹介
・日本野鳥の会筑後支

- ・日本野鳥の会筑後支部 会報まめわり 第193号 17. 6. 1
「鳥信で募集する野鳥たち」ミゾゴイの生態などを掲載
- ・久留米の自然を守る会 久留米の自然 第130号 2017年5月1日
久留米の蝶 (55)・高良川流域のキノコ (32)などを掲載

 参加費・寄付金の報告 2017年5/21の参加費5,400円



 インターネット掲示板に会員の皆様の書き込みをお願いします。

ナイス福岡のアドレスは最初のページの一番下に表示しています。

 会費振込について
それぞれの会員の

それぞれの会員の皆様の会員期限をタックシール部分に明記してあります。各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。なお、会計年度は6月から翌年5月末までです。

年会費:2000 円 郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783

 定例会に参加してみませんか？
本会の運営に関する打ち合わせ

本会の運営に関する打ち合わせや情報交換、会報の発送作業を原則として毎月第2金曜の18:00～20:00ごろまで自然案内舎(有)クラブードにて行っています。

会員の方はどなたでも参加できるのでお気軽にお立ち寄り下さい。皆さんのお越しを心よりお待ちしております！

次回の定例会は、平成29年7月14日（金）午後6時より事務局で行います。2017年7月号の原稿は、2017年7/10（月）までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。



編集後記 2017年5月の定例発送会は、山本弘子、藤川渡、永松愛子、田村耕作が参加しました。5/27、仕事帰り、夜須高原の標高350mあたりに出かけて、夕暮れ時から周りが真暗くなるまで、野鳥の姿と鳴き声を楽しみました。近くにきたカワラヒワやキセキレイ、それに2羽で飛び回るアオバト（♂と♀）、夕暮れ時に囀っていたホオジロを観察しているうちに、暗闇が強くなりホトトギスやカッコウの声にちょっと感動。20時頃になって、カエルの鳴き声に混じってヒクイナの連続した鳴き声、林のある方面からフクロウのごろ助ホーの音が聞こえてきた時、一人でヤッターと小さな声で呟きました。

楽しいひと時でした。これから堂の光も楽しめそうですね（田村）。

